

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 5 年 3 月 30 日(2023.3.30)

【公開番号】特開 2021-137063(P2021-137063A)

【公開日】令和 3 年 9 月 16 日(2021.9.16)

【年通号数】公開・登録公報 2021-044

【出願番号】特願 2020-34494(P2020-34494)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

10

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 3 月 21 日(2023.3.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

識別情報の変動表示を行う表示手段と、該表示手段によって表示される表示内容を制御する制御手段とを備え、遊技球が流下可能な遊技領域のうち通常遊技状態において所定の第 1 領域に遊技球を流下させて遊技を行い、前記表示手段によって所定の表示結果が表示された場合には前記第 1 領域とは別に設けられる第 2 領域に遊技球を流下させることによって所定の特典領域に遊技球を入球させることが可能であり、該特典領域に遊技球が入球した場合には当該特典領域に遊技球が入球しない場合に比べて遊技者にとって有利な遊技状態へ遷移可能に構成された遊技機において、

前記表示手段に対して遊技機正面側から見て複数の方向側に複数の装飾部材が設けられ、前記複数の装飾部材には、表面部分を発光させることを可能とする発光手段が設けられ、前記複数の装飾部材の一部には、複数の文字を並べて構成した文字列部分が設けられ、前記所定の特典領域に遊技球を入球させることが可能となった場合には、遊技機正面側から見て左上側から右下側に連続する右下がりとなるように前記文字列部分の複数の文字を表示可能であり、

30

前記文字列部分が右下がりとなった場合において、前記遊技領域へ遊技球が進入する入口部分が位置する左上側から、前記特典領域、または前記特典領域へ遊技球を進入させるために動作する進入規制機構を含む入賞装置へ向かう右下側へ前記文字列部分が順に発光する発光演出を実行可能とし、

前記文字列部分が右下がりとなった場合において、遊技機正面側から見て前記文字列部分より左上側においては、前記文字列部分を構成する前記装飾部材の下側の辺に対する延長線と上側の辺に対する延長線との間に前記遊技領域へ遊技球が進入する入口部分が位置し、

40

前記文字列部分が右下がりとなった場合において、遊技機正面側から見て前記文字列部分より右下側においては、前記文字列部分を構成する前記装飾部材の下側の辺に対する延長線と上側の辺に対する延長線との間に前記特典領域、または前記特典領域へ遊技球を進入させるために動作する進入規制機構を含む入賞装置が位置し、

前記複数の装飾部材の 1 つは、前記文字列部分が右下がりとなるように当該文字列部分の左上側を中心とした回転動作が可能であって回転動作の中心が前記遊技領域へ遊技球が進入する入口部分の近くに設定され前記文字列部分が右下がりとなるように回転動作した後

50

には当該文字列部分より右下側に前記表示手段の表示領域の一部を視認可能とする隙間部分が形成されるように構成されていることを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0002】

遊技機の代表例としてパチンコ機がある。従来の典型的なパチンコ機においては、例えば、通常の遊技状態においては遊技球の発射強度の小さい左打ちにより遊技球を所定の左側の流下領域に遊技球を流下させ、通常の遊技状態よりも遊技者にとって有利な遊技状態においては遊技球の発射強度が左打ちの場合より大きい右打ちにより遊技球を右側の流下領域を流下させて遊技を行う等、遊技の進行に伴って遊技球の打ち出しの仕方を変化させる構成とされる。このような遊技機において、通常の遊技状態から有利な遊技状態への遊技状態の切り替わりに際して、右側の流下領域を流下する遊技球が進入可能な特定の装置や領域（以下、これらを特典領域と称す）に遊技球を進入させることを条件とする構成が知られている（例えば、特許文献1）。

10

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

【特許文献1】特開2011-45422号公報

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

しかしながら、特典領域へ遊技球を進入させることが可能な場合に、好適な演出を実行する構成について、未だ改良の余地がある可能性がある。

20

30

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、上記例示した事情等に鑑みてなされたものであり、特典領域へ遊技球を進入させることが可能な場合に、好適な演出を実行可能な遊技機を提供することを目的としている。

40

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明に係る遊技機は、上記の課題を解決するために、識別情報の変動表示を行う表示手段と、該表示手段によって表示される表示内容を制御する制御手段とを備え、遊技球が流下可能な遊技領域のうち通常遊技状態において所定の第

50

1 領域に遊技球を流下させて遊技を行い、前記表示手段によって所定の表示結果が表示された場合には前記第 1 領域とは別に設けられる第 2 領域に遊技球を流下させることによって所定の特典領域に遊技球を入球させることが可能であり、該特典領域に遊技球が入球した場合には当該特典領域に遊技球が入球しない場合に比べて遊技者にとって有利な遊技状態へ遷移可能に構成された遊技機において、

前記表示手段に対して遊技機正面側から見て複数の方向側に複数の装飾部材が設けられ、前記複数の装飾部材には、表面部分を発光させることを可能とする発光手段が設けられ、前記複数の装飾部材の一部には、複数の文字を並べて構成した文字列部分が設けられ、前記所定の特典領域に遊技球を入球させることが可能となった場合には、遊技機正面側から見て左上側から右下側に連続する右下がりとなるように前記文字列部分の複数の文字を表示可能であり、

10

前記文字列部分が右下がりとなった場合において、前記遊技領域へ遊技球が進入する入口部分が位置する左上側から、前記特典領域、または前記特典領域へ遊技球を進入させるために動作する進入規制機構を含む入賞装置へ向かう右下側へ前記文字列部分が順に発光する発光演出を実行可能とし、

前記文字列部分が右下がりとなった場合において、遊技機正面側から見て前記文字列部分より左上側においては、前記文字列部分を構成する前記装飾部材の下側の辺に対する延長線と上側の辺に対する延長線との間に前記遊技領域へ遊技球が進入する入口部分が位置し、

前記文字列部分が右下がりとなった場合において、遊技機正面側から見て前記文字列部分より右下側においては、前記文字列部分を構成する前記装飾部材の下側の辺に対する延長線と上側の辺に対する延長線との間に前記特典領域、または前記特典領域へ遊技球を進入させるために動作する進入規制機構を含む入賞装置が位置し、

20

前記複数の装飾部材の 1 つは、前記文字列部分が右下がりとなるように当該文字列部分の左上側を中心とした回転動作が可能であって回転動作の中心が前記遊技領域へ遊技球が進入する入口部分の近くに設定され前記文字列部分が右下がりとなるように回転動作した後は当該文字列部分より右下側に前記表示手段の表示領域の一部を視認可能とする隙間部分が形成されるように構成されている。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

30

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

本発明によれば、特典領域へ遊技球を進入させることが可能な場合に、好適な演出を実行可能な遊技機を提供することができる。

40

50